

モデル地域の選定等について(案)

モデル地域での検討プロセス(案)

<想定される参加者>

教職員、保護者(入学予定の方含む)、学校運営協議会委員、地域関係者対象校の学校協力者、児童・生徒 など

第1回 現状・課題とその解決策の共有

- ・ アイスブレイク
- ・ 新しい学校づくり推進事業全体の説明
- ・ 地域・学校の現状と課題(将来推計、学区、通学路等)について説明、意見交換
- ・ 解決策や「新しい学校」のイメージを事務局から提示、気づいたことや問題点等について、グループ単位で意見交換



第2回:ワークショップ 新しい学校の通学環境について

- ・ 第1回の振り返り
- ・ 通学区域図、通学路図を見ながら、変更による課題や安全対策等をテーマにグループごとに意見交換し、発表等を行う。

第3回:ワークショップ 新しい学校の運営について

- ・ 第2回の振り返り
- ・ 新しい学校で、自分がどのように関わりたいか、学校と地域との連携方策(地域開放、管理運営のあり方など)をテーマにグループごとに意見交換し、発表等を行う。

第4回 予備

- ・ 第2回・第3回の進捗や結果に応じて、ワークショップまたは個人ワークを行う。

【報告会】

検討結果について、参加者以外の関係者を対象とした報告会を行う。



モデル地域の選定について(案)

【モデル地域での検討の目的】

・モデル地域で試行的に実施することで、今後各地域で合意形成プロセスを進めていくにあたり、より実効性の高い手法とする。

【モデル地域選定のポイント】

・参加者の発言のしやすさ等を考慮し、参加者を15～20名程度とする。

→対象校が多い地域は除外

・他地域でも検討が想定される論点を包含していること。

	中央・片浦	富水・桜井	川東	橘
対象校数	小学校 10 中学校 4	小学校 4 中学校 2	小学校 9 中学校 4	小学校 2 中学校 1
自治会(連合)の数	13	3	8	2
自治会(連合)区域との不整合(小学校)	三の丸 新玉 足柄 芦子 山王 久野 町田	富水 桜井 東富水 報徳	下府中 国府津 酒匂 矢作 豊川 富士見	なし
分散進学対象校(小学校)	新玉 芦子		豊川	